

---

『I love you』

寿々

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

『I love you』

### 【Nコード】

N8373A

### 【作者名】

寿々

### 【あらすじ】

日番谷冬獅朗のお誕生日の話。みんなのくれたプレゼントが似たり寄ったりの中、あいつのプレゼントだけは・・・

(前書き)

市丸ギンの関西弁がおかしいかもしれません。  
そこそこは、ご了承ください。

一応誤るところかな・・・ごめんなさいっ！

冬が来た。

ソウル・ソサエティにも、雪が降ってきた。

遙か遠くの西ルコン街では、子供たちが遊んでいるのがここからでもわかる。

「雪……か」

日番谷冬獅朗が生まれた日にも、たくさん雪が降っていた……らしい。

「隊長！誕生日プレゼントがたくさん届いてますよっ！！」

書類を届け終わった乱菊が、ソファアを指差して笑った。

「ふえ……？」

「だから、誕生日プレゼン……って、もしかして、寝てました？隊長」

たくさん届いているプレゼントのひとつを掴んで、乱菊は楽しそうに言った。

「あけてみましょうよ」

「ばっ……俺んだぞ！勝手に開けてんじゃねえ！」

と言いつつ、日番谷はその辺のプレゼントを掴むと紙をバリバリと外しながらプレゼントを開けていた。

「なんか、似たり寄ったりですねえ」

「そんな事いったら失礼だぞ」

でも、乱菊の言ったことはそこそこ合っていて、どのプレゼントも、マフラーとか防寒ものばかりだった。

「ちえ。つまんなーい。みんなどんな物を買ってくるかと思ったら・

……。考える事は同じなのねえ」

「その例がお前だな。似たり寄ったりどころじゃないくらいそっく

りなモン買ってきたやつて」

「だって、前の前の年に冬花火したじゃないですか？そのとき規模が大きかったからもういいかなーって」

「去年も同じこと言いやがって……」

一つ、みんなと違ったプレゼントが入っていた。

中身は小さなぬいぐるみ。

そして、それをくれた人の名は……

市丸ギン。

本当は雛森かと思ったけれど

雛森がくれたのは、淡い青色をしたマフラーだった。

「わー。ぬいぐるみかぁ。でも、コレくれたのって誰でしょうねえ  
??」

確かに名前が書いていない。

でも、わかった。だって、手紙がついていたから。

『おめでとさん。十番隊長さん。また、そっちに飲みに行ったとき  
によるしゅうな』

この喋り方だから分かったただけなんだけど……

日番谷はそのとき気づかなかった。

ぬいぐるみの手に、もう一つ、手紙がくっついていた事を。

『I love you』

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n8373a/>

---

『I love you』

2010年10月11日02時45分発行